



今日は天気が悪くどんよりしていたのですが公園に着いた時、綺麗な虫の声が響いていてまた違った舞岡公園を感じることができました。稲刈りの作業はあまり大変なことだと思っていなかったのですが今日雨の中やって稲刈りの大変さを思い知りました。晴れていたら少し違ったのでしょうか…。最初ネットがかかっていた木の棒を抜く作業の時、1人でできると思っていたのですが、どんなに揺らしてもビクともしなかつたので男子達に任せてしまいました。やっぱり男の人の力は強いんだと実感しました。

その後、私はカマで稲を刈ることをずっとやっていました。交代しと言われてたのですが刈るのが楽しくて疲れたのですが交代しませんでした。最初はうまくカマを使えなくてすぐ力を入れないと切れませんでしたが、しばらく刈っていくうちに余計な力を使わずに切れるようになりました。スパッと切れる感じがとても楽しくて夢中になってしまいました。でも、楽しくても安全に十分気をつけて行ったので怪我はなかったです。切っている間にたくさんのカマキリを見ることができました。触ることもできました。カマキリに触ったのなんて小学生以来です。途中で雨が強くなってしまって中断になってしまったのはとても残念でした。

今日は長袖で作業したのですが腕まくりを少ししていたので、肌がかぶれてしまっていました。下は半ズボンだったせいで、虫に5箇所も刺されていてびっくりしました。作業をするときの服装はしっかりしないと大変だということを改めて感じました。今日は雨が降って大変だったけれど、私はそれ以上に稲を刈ることがとても楽しかったです。また稲刈りをしたいです。3329 (Mさん)



今回は集合する前にかかしがあった田んぼを通って行きました。色々な種類のかかしがあった中には知ってるキャラクターのかかしもありました。遠くから見たら人がいるようにちゃんと見えました。7月から田んぼに行っていなかったので久しぶりで田んぼを歩いたりするのがうまく出来るか少し不安でした。最初は大変だったけど途中からちゃんと歩けました。今年は雨の日が多くて稲が大変なことになっていることが分かりました。稲刈りはやる範囲が広くて刈るのも大変だった。稲を運ぶのは田んぼの端と中央を往復するのが大変で

した。田んぼにはカエルやカマキリなど色々な生き物がたくさんいました。途中で雨が降ってきたけど暑いより雨が降って少し寒いほうが作業しやすいと思いました。でも雨が降ると田んぼは歩きにくかったです。雨なのに家族で来ている人がたくさんいたのですごいなと思いました。子供も楽しんでいる子もいました。小さい頃から自然に触れることはきっと良いことなんだなと思いました。何回か作業をやっていると家族連れの方とも話しを出来るようになりました。残りの作業も少ないのでしっかりやって色々な人と話しをしたいと思います。(Yさん)





今回は稲刈りをしました。私は刈る係をさせて頂きました。金本さんに刈る時の注意を聞きしっかり頭に入れ、作業を行いました。初めはカマで稲を刈る時一発で切れず、とても悔しかったのですが、何度か作業していくと手際や刈る回数が減っていき徐々に楽しくなりました！たまにカマキリやコオロギ、イナゴ、ヤゴなどたくさんの生き物がいたので子どもたちと話しがたかったなと少し悔いが残りました。

しばらく作業していると雨が降ってきたので全ての稲を刈ることができませんでした。刈る担当なので余計に悔しかったです。その後は束ねてある稲を7対3で分けて原口さんが作って下さった稲を干す所に干しました。雨が降っていたのですがテキパキ行動できたのがとても良かったと思いました。

今回稲刈りをやって見て思ったのは一人では絶対できない事だと思い知りました。稲を刈る人、刈った物を運ぶ人、稲を束ねる人とたくさんの人が集まらなければできない事を今回学びました。改めてお米を作ることがこんなに大変なことなんだと思いました。いつも家で食べているご飯は今私たちが行ってきた事をしなければ食べられないと考えたら一粒一粒大切に食べようと思い返しました。また、今回で人と協力することの大切さも学ぶことができてとても貴重な体験ができました。



あと残りわずかな舞岡で行う作業では、たくさんの人と協力、関わり、生き物と自然と向き合う、これを目標にしていきたいと思います。最後に今回は虫に刺されることが多く、顔や体に湿疹が多く出たり、服に毛虫がついていたり今回はとても多かったです。生き物と人間が暮らしていくには怪我がつきものとはこういうことなのだなと感じました。私はこのことを頭に入れて残りの時間行いたいと思います。(Hさん)

今回の稲刈りは前日の悪天候の為、畑に雨水が溜まっていたとてもやりづらい中での作業でした。途中から雨も降ってきて、作業が中止になったのは残念でした。次回以降に機会があれば子どもや保護者の方に質問をしたいと思います。

(Kさん)



今回の田んぼはかなりの力仕事でした。前の授業の映像で見た田んぼの姿とは比べものにならないほどの土がねっとりしてました。久々に入ったせいか動きにくかったです。仕事が多く特に稲を縛るはゆるくなってしまい難しかったです。やり方が間違っていたらしく、皆さんに丁寧に再度教えてもらいました。また今回の作業でいつもと違うと感じたことは自分で仕事を見つけていくことです。声をかけられてから動くのではなく、円滑にいくよう自分が考えて行動するところが多いと感じました。雨降ってきて中止になって大変な作業でしたが美味しく出来上がるよう今から待ち遠しいです。(Kさん)





今回は夏休みが明けてひさしの田んぼでした。夏休み前と比べると稲が凄くのびていて驚きました。私は鎌を使ったのは初めてだったんですけど、刈るときに一発でスパツとなるのが楽しかったです笑

また縛った稲を洗って運ぶ作業を子ども達が手伝ってくれたんですけど、私よりも手際が良くて上手でした。途中雨が降ってしまったりとハブニングはありましたが、久しぶりの田んぼはとても楽しかったです。また今回は栗をいただきました。ありがとうございます!! (Mさん)

今日は、雨の中での稲刈りでした。稲を刈るやつ、運ぶやつ、結ぶやつすべての仕事を体験することができました。稲をまとめるのがなかなかできなくて、てこずりましたが、何とかまとめることができました。鎌を使うのが最初とても怖くて、ケガをすると傷が何年も残ると聞いて、驚きました。田んぼが水を含んでいて、動きづかったけど、無事に稲刈りが終了して良かったです。最後、雨が強くなってきて中止になってしまったのが、少し残念でした。次回の脱穀も初めてやるので、頑張りたいです。(Sさん)

田んぼの雑草を取ってから大分経ってのフィールドワークだったので、お米がどこまで成長しているか確認出来るのが楽しみでした。実際田んぼを見てみたら連日雨が続けていたためか、土は水を含みドロドロでしたが、きちんと稲は伸びていて近くで見ると一つ一つお米が綺麗に入っているのが確認できて、嬉しい気持ちになりました。ですが、もう泥まみれになるのは前回までだ、と喜んでた分、またいろんなところが汚れる…と少し嫌でしたが、それよりも稲を丁寧に刈るということに集中していたと思います。カマを使った今までで一番危険な作業でもあったため、疲労が溜まってきても余所見だけはしないように気を付けました。



気温は低く、比較的作業しやすい環境に感じましたが神経を使って普段やらない事を長時間行っていたからか、自然に汗が滲んできて驚きました。あともう少し、というところで雨が降ってきてしまい、びしょ濡れになってしまいました。なんとか稲刈りを終え全員で干す事が出来たので、無事今回やるべきことがやり遂げられて安心しました。次の脱穀の後はやっとな餅つきだ!と思うと早く脱穀を終わらせてしまいたいです…。笑 今までで一番疲れた作業でしたが、すすくと育っていた稲を観察することができて良かったです!(Mさん)



田んぼに行くとトンボが沢山飛んでいて田んぼの中にもクモやカエルたくさん生き物でいっぱいでした。久々という事もあり最初は嫌で仕方なかったです。稲刈りは映像で見ると大変でした。かまをつかうのは初めてだったので手を切らないかとか不安な気持ちでした。稲が倒れていてかきにくかったり1回で上手くかれなかったり苦戦しました。前回までの作業と比べ物にならないくらい泥だらけになりました。でも、もうすぐで育てたお米が食べれるようになるって考えるととても楽しみです。(Hさん)

今回は稲刈りということで、鎌の使い方に特に気を付けて行ないました。前の授業で長靴でやると言われていたので、楽かなと思っていたんですけど、、、連日の雨で水が逆流してしまい、いつもと変わらない泥の中の作業でした泣一番大変だと思って稲を刈る役になったわけですけど、、泥の中の作業だったことが相まって、恐らく一番大変だったのは刈った

稲を受け取る中継役の人だったと思います、。泥の中の作業でとても大変で時間がかかってしまい、更には後半雨も降ってきて作業が中断。刈り損なった稲がどうなるのかとても心配です。

今回が最後の田んぼの中での作業 だったわけですけど、最後の最後まで大変で気の抜けない作業でした。次回は脱穀ということで、自分で脱穀をするのは初めてなのでとても楽しみです。(Sさん)

初めての稲刈りでどれだけ大変な作業かあまり想像できていませんでした。最初は曇ってたのが段々と雨が強くなってきてたださえ大変な作業が倍くらい時間がかかっていたような気がしました。私は刈るのではなく田んぼの中に入ってほとんど受け渡しの作業をしていました。だんだんと進んでいくにつれて方向転換をするのもきつくなってきてすごく大変でした。支えの柱を抜くのにもどんなに動かしても動いてくれなくて、最終的には助けてもらったりと、今回の作業はみんなで協力して行った作業だったんじゃないかなと思います。次回は晴れてくれたらいいなと思っていました。(Nさん)



今回、稲を刈るのは時間がかかるけど、疲労は今までよりは、“刈る”という単純な作業なので、疲れなと思いきや、今までの作業の中で一番疲労した作業でした。刈るときは、腰を落として、稲を持つ時は親指を上に向けて、下から5cmくらいに鎌で切っていくそうです。説明もシンプルなので、時間がかかるけど疲労は少ないと思っていました。しかし、稲は予想以上に切っても切っても減らず、鎌で一発で切れるはずが、慣れておらず、ひとつの稲何回か鎌を入れるのに時間をかけすぎて、疲労が物凄くたまりました。

疲労はたまるけど、最後まで頑張りたいと思っていましたが、雨で中止になり、とても残念でした。

そのあと、稲を木の竿の用な所に、7:3に稲を分けて、7:3で稲を木に置いたら、3:7で分けたものをそのとなりに置き、それを繰返していく作業をしました。以外と7:3に分けるのは難しかったです。人間の髪の毛を七三分けにするより難しいかも?(笑)(Kさん)

* * * * *

舞岡の夏の風物詩水色のネットと杭も取り払われて、里にも人の営みにも秋が来ます。秋空に舞うトンボたちを自分の指先に導いてみたり、杭にもたれて秋を堪能したり・・・一人ひとり思い思いに舞岡の秋を楽しんでいる姿が素敵です。みなさんの振り返りを読むたびに柔らかな♡に触れる新鮮さを感じます。そして、その生き生きさは瞬間に次の何かに変化している。生きていくということはそういうことでもありますよね。



私も12年目になりますが、今年の「穂発芽(ほかつが)」も田植えのような稲刈りも初めてです。

地球規模の気候変動は舞岡でもこのような形で、私たちの餅米に関わってくるのでしょうか。

みなさんがずぶ濡れになった翌日、谷四囲会のみなさんと田んぼ部会の方で28番田んぼの稲刈りが終わりました。



さぞかし大変な作業と思い、「稲がスパッと切れて楽しかった。声をかけられてでなく、自分で、動かないと、縛り方を丁寧に教えていただいた、作業を最後までやれなかったのが残念」などメールで来ていますと金本さんに連絡したところ、「かつてない悪条件下での作業にも拘わらず、生徒たちがそのような感想を言ってくれたというだけで、大いに力づけられます。」とお返事をいただきました。

自然の恵みの中で、人と人が繋ぐ私たちのお米、お餅つきが楽しみです
ね!(授業担当 松山広樹)